

■平成27年度事業報告

青少年の貧困対策について大綱が制定され、貧困の連鎖をなくそうと全国で取り組みが進んでいこうとしています。大阪府キャンプ協会でも27年度事業に反映させ、会員事業や指導者養成事業のなかで取り組んできました。しかしながら、まだまだ子どもの教育や体験活動への参加機会には格差があり、格差拡大のスパイラルが生じています。若い指導者による勉強会としての「CD塾」や、関係団体との連携共催事業を充実させ、このような社会問題に対して、キャンプはどんな貢献が可能なのか、社会はキャンプに何を求めているのか、さらなる検証が求められています。27年度の事業成果を踏まえ、大阪府キャンプ協会では、会員の取り組みの支援を一層進め、日本協会50周年の記念事業とも連携し、新しい時代への事業運営や組織運営についての検討を進めながら、キャンプ活動全般にわたる啓発普及、指導者の資質向上、関係団体との連携強化を推し進めていく必要があると考えられます。

1. 事務局関連の報告

- ①会員状況
- | | | | |
|-------|----|------|------------|
| 正会員 | 個人 | 368名 | (内大阪のみ22名) |
| | 団体 | 32団体 | |
| 指導者会員 | | 183名 | |
| 賛助会員 | | 0名 | |
- ②総会
- 6月14日(日) 大阪市立長居ユースホステル 会議室(多目的室)
【出席確認】 正会員数 381(個人 354名、団体 33)
本人出席 33名
委任状等 98名
- ③常任理事会
- 4月23日(木) 大阪府青少年活動財団内 ミーティングルーム
11月4日(水) 大阪府青少年活動財団内 ミーティングルーム
- ④理事会
- 3月21日(月・祝) 大阪YMCA会館 (大阪市西区土佐堀)
- ⑤各種委員会
- ・ 部会長・副部会長会議 7/1
 - ・ 専門委員会 6/14、7/1、9/16(指導者部会)、11/20、12/11
 - ・ 広報部会 4/15、7/15、10/15、1/18
 - ・ アウトドアチャレンジ実行委員会 9/14、1/25、2/29
 - ・ リスクマネジメントセミナー実行委員会 6/22、7/22、9/18、11/17
 - ・ 関西野外活動ミーティング2015実行委員会 12/14、2/18
- ⑥日本キャンプ協会
- ・ 総会・キャンプアカデミー 5月30日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター
3月12日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ・ 都道府県キャンプ協会指導者研修会 5月31日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
3月13日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター

・近畿ブロック会議

5月31日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター

11月14日(土) 和歌山YMCA会館

3月13日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター

⑦表彰

CAMPING AWARD 2015

豊能登山キャンプクラブ

3月12日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター

2. 実施事業の報告

(1) 指導者養成事業及び会員事業

キャンプ指導者の養成及び資質向上のための各種指導者養成事業を実施すると共に、会員の相互連携と研鑽の機会を提供しました。

事業名	実施形態	日程・会場	参加人数
CD塾 ① 今年度のCD塾の方向性について ② 「吉野宮滝野外学校」について 大阪府青少年活動財団 後藤聖司氏 ③ 「ヒューマンヴィレッジネットワーク」について ヒューマンヴィレッジネットワーク 田村 豊氏 ④ 「協会の取り組み」 大阪市青少年活動協会 小柳敬明氏 ⑤ 「土と水と緑の学校」 アジア協会アジア友の会 正法地浩氏 ⑥ 「野外活動センター40周年」 茨木市立野外活動センター元所長 松本 武氏 ⑦ 「野尻学荘」 東京YMCA 由井卓哉氏 ⑧ 「小西孝彦さんに学ぶ会」 アサヒキャンプ合同CD塾	主催 ⑧のみ、アサヒ キャンプと共催	①4/21 大阪南 YMCA ②5/19 大阪南 YMCA ③6/16 大阪南 YMCA ④7/14 大阪南 YMCA ⑤10/20 大阪南 YMCA ⑥11/25 大阪南 YMCA ⑦1/23 土佐堀 YMCA ⑧3/21 大阪 YMCA	各回 5～26 名 ⑧は合同 のため 50名
キャンプサロン 「これからのキャンプ協会に望むこと」 錦織会長、一村専門委員長、正法地専門委員	主催	6月14日(日) 大阪市立長居ユースホステル	32名
たき火だ、ホイ!①②	主催	①10月10日(水) 府立少年自然の家 ②2月6日(土) 東大阪市立野外活動センター	各10名
リスクマネジメントセミナーin 関西【BUC】 「多発する異常気象に対応するキャンプを考える」 (株)ウェザーマップ 片平敦氏	共催<関西テレビ 青少年育成事業団、大阪府青少年活動財団>	12月6日(日) ドーンセンター (府立男女共同参画・青少年センター)	115名
キャンプディレクター2級養成講習会	主催	2月5日(金)～7日(日) 吉野宮滝野外学校	5名

<p>関西野外活動ミーティング2016【BUC】 <シンポジウム> 「人をつなぐ 地域をつなぐ キャンプの力～被災地の復旧・復興に果たす視点から～」 ・嶽山 洋志 氏 兵庫県立淡路景観園芸学校／ 兵庫県立大学大学院 博士 ・池田 勝一 氏 現堺市立五箇荘小学校校長 元盛岡YMCA 宮古ボランティアセンター長 ・石田 易司 氏 桃山学院大学 教授</p>	<p>実行委員会参画</p>	<p>2月28日 ドーンセンター (府立男女共同参画・青少年センター)</p>	<p>95名 研究発表 7題 実践事例発表 6題</p>
---	----------------	--	--

(2) 情報収集と提供及び調査研究

キャンプ活動に関する情報を会員及び広く府民に提供すると共に、キャンプに関する調査研究を進めました。

<p>広報誌 『きゃんぷOSAKA』の発行</p>	<p>春号(92号)4/15 夏号(93号)7/15 秋号(94号)10/15 冬号(95号)1/15</p>	<p>職員・リーダー研修 総会・キャンプサロン報告 継続的なクラブ事業 オープンイベント</p>	<p>各2,000部</p>
<p>調査研究 「チーム始動時におけるASEは有効か？」 秋号(92号) 「大学生のキャンプ指導経験がヒューマンコミュニティ創成マインドに及ぼす影響」 冬号(93号)に掲載</p>		<p>専門委員の伊原久美子(大阪体育大学)氏を中心に、研究部会員の協力を得て、各施設でアンケート調査を実施。</p>	
<p>「フェイスブック」開設・運営、 ホームページ運営</p>	<p>フェイスブック活用による告知・報告の開始</p>	<p>6月14日(日)フェイスブックを開設し、広報部員を中心に随時更新中。引き続き登録のための呼びかけを実施。</p>	
<p>キャンプサロン 「これからのキャンプ協会に望むこと」 会長 錦織 一郎 専門委員長 一村 小百合 専門委員 正法地 浩</p>	<p>主催</p>	<p>6月14日(日) 大阪市立長居ユースホステル</p>	<p>32名</p>

(3) 各種事業との連携

キャンプ関係機関・団体が実施する事業と連携し、キャンプ活動の推進を図りました。

■共催・協力

事業名【主催者】	日程・会場	協力形態	参加人数
<p>アウトドアチャレンジ 野外力検定 【アウトドアチャレンジ実行委員会】 (BS大阪連盟・大阪BS振興協会・GS大阪府連盟・大阪YWCA・府青少年活動財団・大阪市青少年活動協会・CONE・府こ連)</p>	<p>3月12(土)・13日(日) インテックス大阪</p>	<p>実行委員会の一員として参画。アウトドアフェスティバルに出展(丸太切り・ロープ結び・重さどんぴしゃ・豆つかみ)</p>	<p>両日で 338名</p>
<p>大阪アウトドアフェスティバル2016 【テレビ大阪】</p>	<p>3月12(土)・13日(日) インテックス大阪</p>	<p>「アウトドアチャレンジ」で出展という形で協力</p>	<p>両日で 26,019名</p>

■後援名義

事業名	日程・会場	主催者
青少年指導者のための公開研修 講座「良い人間関係をつくるコ ミュニケーションスキル講座」	①10月14日 ②11月11日 ③12月9日 全3回 関西テレビ放送本社	関西テレビ青少年育成事業団
YMCA自然学校 サマープログラム	7月20日～10月25日 計20事業 小笠原・富士山・ハチ高原 他	大阪YMCA (南YMCA・土佐堀・枚 方YMCA・堺YMCA・東YMCA)
YMCA自然学校 ウィンタープログラム	12月25日～2月14日 計15事業 大阪YMCA会館・戸隠高原 他	大阪YMCA (南YMCA・土佐堀・枚 方YMCA・堺YMCA・東YMCA)
YMCA自然学校 スプリングプログラム	3月25日～4月1日 計9事業、北海道・志賀高原・大阪近郊他	大阪YMCA (南YMCA・土佐堀・枚 方YMCA・堺YMCA・東YMCA)
大阪アウトドアフェスティバ ル2016	3月12日(土)～3月13日(日) インテックス大阪	大阪アウトドアフェスティバル実行 委員会・テレビ大阪

(4) 日本キャンプ協会関連事業

日本キャンプ協会 CAMPING AWARD 2015 表彰
「豊能登山キャンプクラブ」受賞 2016年3月12日

■平成27年度 収支決算

一般会計

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
会費収入	2,131	事業費	1,265
事業収入	494	管理費	1,674
雑収入	5	その他支出	0
その他収入	0	予備費	0
当期収入合計	2,630	当期支出合計	2,939
前期繰越収支差額	1,023	当期収支差額	△309
収入合計	3,653	次期繰越収支差額	713

特別会計

(単位:千

円)

収入の部		支出の部	
繰入金収入	0	繰入金支出	0
諸収入	1		
当期収入合計	1	当期支出合計	0
前期繰越収支差額	3,417	当期収支差額	1
収入合計	3,418	次期繰越収支差額	3,418